

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（芹沢中部自治会）
2	日時	令和7年3月2日（日）9:00～10:00
3	場所	芹沢中部自治会館
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）金子副主査、角寄技能労務主査 （芹沢中部自治会）参加人数：21人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今回の説明会は、自治会員を対象に実施しているが、自治会未加入者や外国籍の方への周知はどのように行なっているか。 → 自治会の加入に関わらず全戸に「戸別収集実験事業ガイドブック」等をポスティングするなど周知を進めている。外国籍の方へは、英語版の案内を作成しており、市ホームページに掲載する予定である。必要としている方がいれば、資源循環課まで連絡いただければ、市から案内する。 ● 収集漏れの問い合わせは、どちらに問い合わせればよいか。 → 資源循環課もしくは環境事業センターまで問い合わせいただきたい。 ● 収集漏れの問い合わせは、何時まで問い合わせ可能か。 → 4月当初は、収集漏れの発生が見込まれるため、17時以降も問い合わせ対応ができる体制を整える予定である。 ● 戸別収集実験事業の終了後、ステーション収集に戻る可能性はあるか。 → 戸別収集を継続していく可能性もあれば、ステーション収集に戻す可能性もある。 ● 自治会未加入者も戸別収集実験事業の対象であるか。 → そのとおりである。 ● ステーションに燃やせるごみが出してしまった場合、一切収集しないか。 → 燃やせるごみは、ステーションでの収集を行わない。燃やせないごみや資源物を収集している集積場所に出されてしまった場合、啓発シールを貼り、出し直しを促すが、燃やせるごみだけを収集している集積場所であれば、自身で出し直していただく必要がある。問題が生じている場合においては、環境事業センター業務担当まで相談いただきたい。 ● 通りすがりにごみ出しをして行く方々がいるが、その方々がステーションにごみ出しをした場合、どのように対応するか。 → 燃やせるごみはステーションでの収集を行わないため、出し直されない場合は環

境事業センター業務担当までご相談いただきたい。開封調査や立ち番等を行い、排出指導を行う予定である。

- 啓発シールが貼られたごみは、環境事業センター業務担当に問い合わせれば、回収してもらえるか。

→ 一定期間は排出者に対し啓発するため回収しないが、問題が生じている場合は、地域の実情に合わせて柔軟に対応する。

- ステーションに出されてしまった燃やせるごみを、ボランティアごみとして出すことはできるか。

→ ステーションに燃やせるごみを出した方に啓発するためにも、ボランティアごみとしてお出しいただくことは、お控えいただきたい。ステーションに燃やせるごみを出されお困りの場合は、環境事業センター業務担当まで相談いただきたい。

以上